

2026 年度重点プロジェクトにおける地域課題の設定及び取組案

1 地域課題の設定

- 愛知県・市町村人口問題対策検討会議において対策案の検討が行われている 3 つの課題「地域交通の確保」「空き家の活用」「農林水産業の振興」は東三河地区においても共通して関心が高い課題であることや、東三河ビジョン協議会委員から「いずれの課題も東三河地域における重要なテーマである」とのコメントをいただいたことを踏まえ、企画委員会で協議を行い、重点プロジェクトのスタート時に設定する地域課題は前述の 3 つの課題とした。
- KPIについては、東三河地域全体で共有できるわかりやすい指標とすることを想定している。

2 取組案

- 2026年度重点プロジェクトチームを立ち上げ、設定した地域課題の共有及び取組案のリストアップを実施し、以下の 6 つの着眼点から総合的に勘案して重点プロジェクトへ掲載する取組案（第一弾）を整理している。

着眼点	説明
「課題へのアプローチ方法」	重点プロジェクトに掲げる「意欲ある人の創出」または「人に代わる力の導入や合理化」から課題解決へアプローチする取組となっているか。
「東三河地域の独自性」	県全域で実施される取組ではなく、東三河地域独自の取組*か。 ※東三河地域独自の取組かを判断するにあたって、以下の 2 つの条件どちらにもあてはまらない取組を東三河地域独自の取組とした。 ①愛知県・市町村人口問題対策検討会議にて打ち出された施策で、県全体で実施しようとしている取組。 ②国や県が県全体に対して統一して実施している取組。 県全域の取り組みに加え、 東三河地域が独自の取組を実施することで、より充実した対策を図る。 優良事例の横展開が望めるものや事業の連携が期待されるものは独自性があるとした。
「切迫度」	人材、財源、時間などのリソースが限られている状況の中、課題解決へ向けて優先的に実施すべき取組か。
「実施主体」	取組を実施する主体が明確となっているか。実施主体とされる団体等は取組を実施する意思があるか。
「財源措置の見込み」	取組に必要な財源を確保できる見通しがあるか。
「実現可能性」	以上 5 つの着眼点を踏まえて総合的に勘案し、実施できる取組か。または、将来的に実施を見込める取組か。

- 今後、各取組案の詳細を把握し、情報を共有する。
重点プロジェクト策定までに新たな取組案がリストアップされることもある。

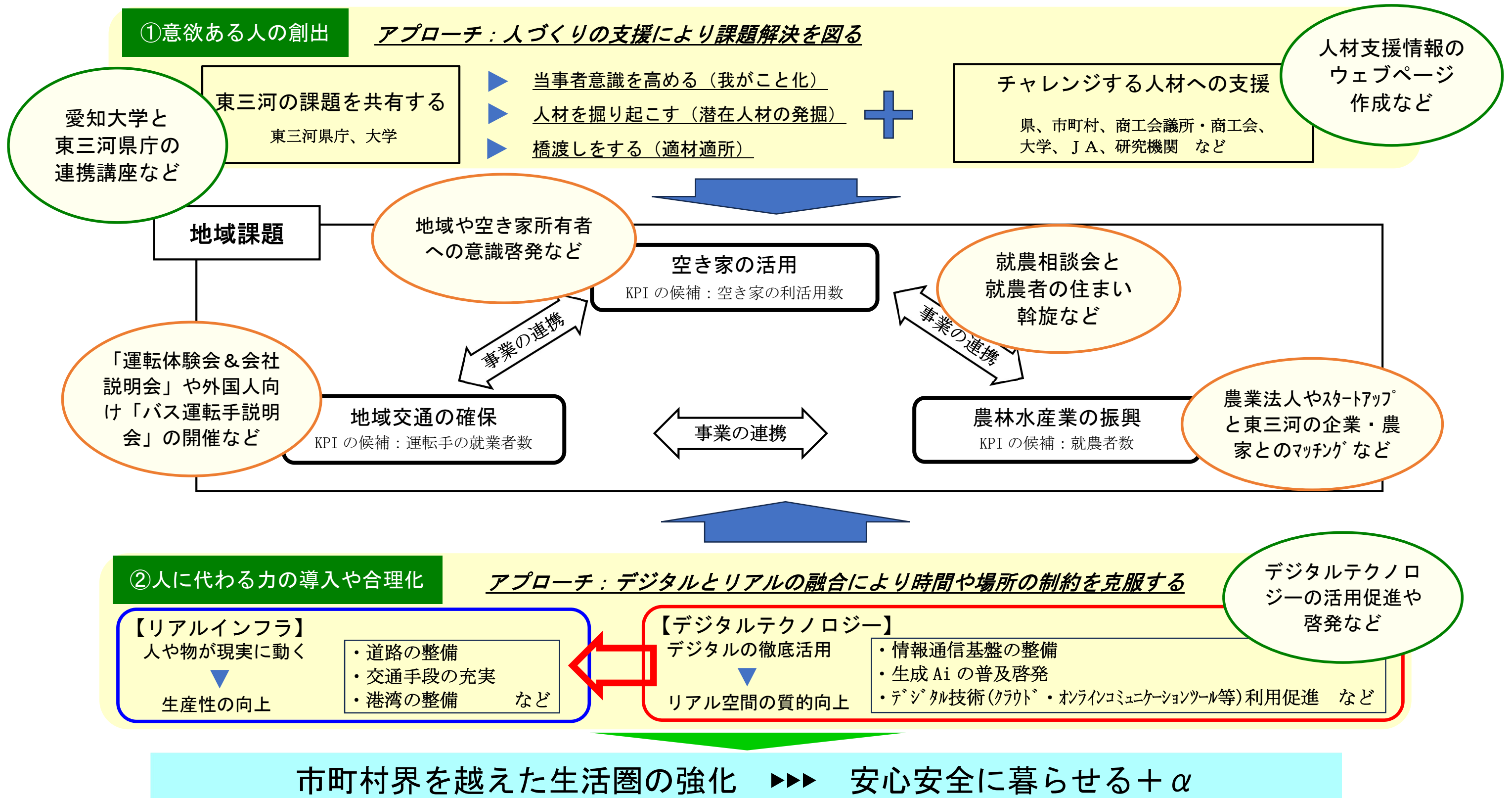
3 「意欲ある人の創出」や「人に代わる力の導入や合理化」に直接資する取組案

- 「人材の掘り起こし」や「デジタルテクノロジーの活用促進や啓発」などの取組を検討しており、関係団体と調整を実施している。
- こうした取組を地域課題に対する取組とあわせて実施することで、より充実した重点プロジェクトになると考える。

2026 年度重点プロジェクトにおける取組のイメージ図

2026 年度重点プロジェクトテーマ

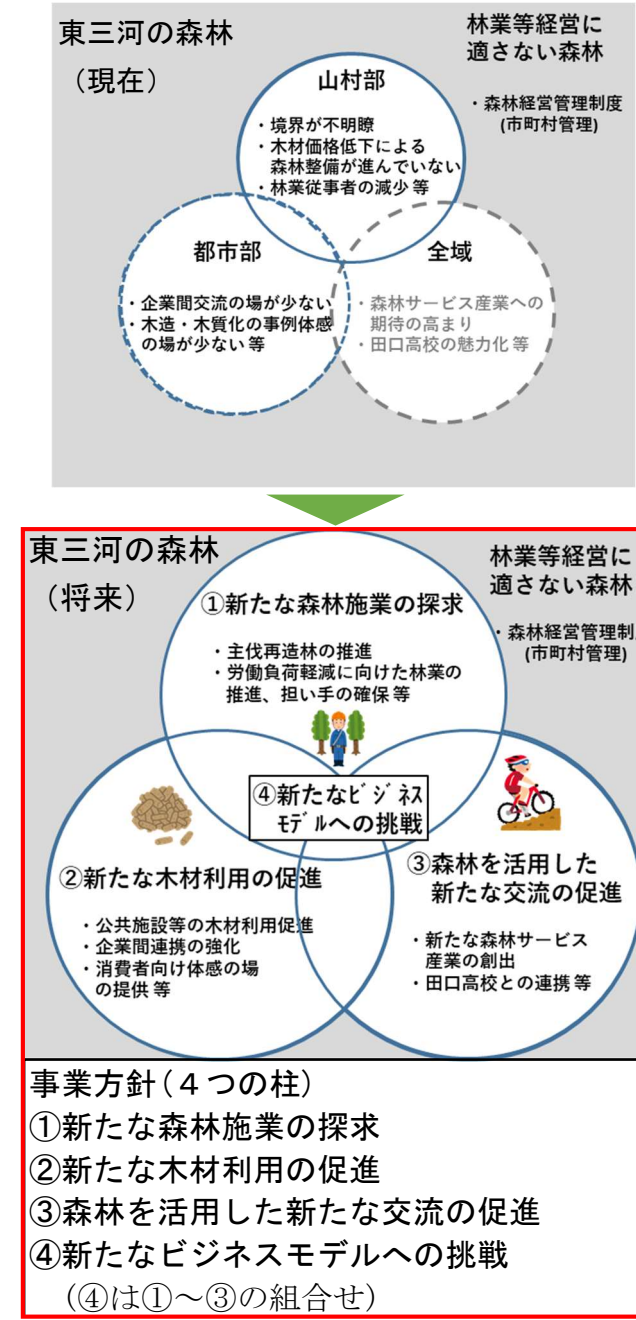
楽しく住み続けられる地域生活圏の形成に向けて ～人口減少に向き合い、活力ある東三河へ～



2024 年度重点プロジェクト「東三河森林ルネッサンスプロジェクト～森林資源の循環利用による東三河の振興～」の実施状況について

事業目的

森林関連産業における新たな収益事業の構築や既存事業の強化拡大・連携推進を図り、成長化に向けた可能性を探ることで、豊かな森林資源を活かした東三河の振興を目指す。



豊かな森林資源を生かした東三河の振興

目標管理指標 (計画期間：2024 年～2026 年)

- ・ 林業における新たなビジネスモデルの構築件数 1 件以上
- ・ 林業以外における森林を活用したサービス事業の開発件数 4 件以上

事業実施状況

事業方針	事業項目	2025 年度事業内容
新たなビジネスモデルへの挑戦	1. 森林信託制度の導入検討	○調査地の権利関係、森林資源情報、経済価値等の調査、制度導入の候補地となり得るかの検証を検討中
新たな森林施業の探求	2. カーボンニュートラル社会の実現につながる主伐再造林の推進	○主伐、再造林等に対する補助の実施 ○リーフレット等による周知
	3. J-クレジット制度の推進	○県有林における森林クレジットの創出・販売を踏まえた、制度活用促進に向けたセミナーや研修の開催
	4. 労働負荷軽減に向けたスマート林業、境界の明確化に向けた取組等の推進	○木材利用イベント等において、ドローン等 ICT 技術を活用したスマート林業の普及・啓発 ○ICT を活用した取組の照会及び共有
	5. 担い手確保	○ふるさと回帰フェア 2025 (9/20(土)、9/21(日)) 等のイベント時に、林業の啓発活動を実施
新たな木材利用の促進	6. 企業間連携の強化	○11/7(金)、8(土) ウッドコレクション in 東三河を開催 会場：イオンモール豊川 ・企業間連携を促進、一般県民にも広く PR ・木製品の展示や木材等に関するブース出展 ・木工ワークショップ等木に親しむ企画 等
	7. 住宅等の木材利用、サーキュラーエコノミーの推進	○木質体感ショールームの設置 住宅等をイメージした構造躯体、机、椅子等の展示 ・9 月～10 月 豊橋駅周辺 ・11 月～1 月 東三河総合庁舎 1 階エントランス ○地域材を使用した戸建住宅建築補助制度の実施状況照会及び共有
	8. 公共施設の木材利用促進	○東三河総合庁舎 1 階エントランスを木質化 ○計画・実績リストを作成し、情報共有
森林を活用した新たな交流の促進	9. 森林サービス産業の推進、森林を活かした環境学習と上下流交流の促進	○造成中のモデルプランのブラッシュアップ、新規モデルプランの造成、森林サービス産業に関心のある企業を対象とした誘客プロモーションの実施 (東京地区のイベントへの出展、名古屋方面でのセミナーの実施) 等 ・6/23 (月) モデルプラン造成中の事業者・新規モデルプラン造成候補事業者への説明会の実施 (田口特産物振興センター) ・12/10(水)～12/12(金) エコプロ 2025 (東京ビックサイト) ・10/3 (金)、10/4 (土) SDGs 子ども・ユースフェア (愛知県国際展示場) 東三河の森林サービスプログラムを紹介するブース出展
	10. 田口高校との連携	○県教育委員会と連携協力し、田口高校の魅力化を推進 ○学習カリキュラム【スマート林業】【アウトドア】【探求学習+キャリア教育】の作成・一部試行、木工事業者と田口高校によるコラボ商品の開発・制作、名古屋方面での田口高校 PR イベントの実施、進路選択の支援 等 ・カリキュラム案を担当教員が確認し、管理職へ提出 ・5/8 (木) 1 年生を対象とした【探求学習+キャリア教育】で外部講師によるキャリア講演を実施

東三河のめざす地域の姿に向けた新たな指標（定性的なもの）調査及び東三河振興ビジョン 2030 の認知度調査について

1 概要

- 「東三河振興ビジョン 2030」の進捗管理指標のうち、「東三河のめざす地域の姿に向けた新たな指標（定性的なもの）」は 2026 年度までに策定することとしている。このため、今年度に「東三河のめざす地域の姿に向けた新たな指標（定性的なもの）」を決定し、決定した指標の目標値を設定するための調査を実施して、2026 年度に目標値を設定する。
- また、「東三河振興ビジョン 2030」の進捗管理指標のうち、「東三河振興ビジョン 2030 の認知度」も 2026 年度までに策定することとしている。今年度は認知度の実態を調査し、2026 年度に認知度の目標値を設定する。

2 「東三河のめざす地域の姿に向けた新たな指標（定性的なもの）」の案

「住民の幸福感」とする。

指標の案を「住民の幸福感」とした理由

- ①今年度の県政世論調査で幸福度の調査が予定されている。県政世論調査における「幸福度調査」の全体標本数は 3,000 人。県全域を 16 地区に分割し、各地区の人口により標本数が比例配分されるが、東三河の標本数は 300 人で、そのうち回答者数は 150 人程度に過ぎない。追加で調査を行うことにより、より正確に他地域の調査結果と比較することができるため。
(令和 6 年度県政世論調査の実績：全体標本数 3,000 人、回答数 1,514 人(回答率 50.5%)のうち、東三河在住者の回答者数は 141 人)
- ②東三河地域への愛着や暮らしの満足度といった住民の主観的な評価を知ることができる。
- ③人々が暮らしの評価をする際の基準を知ることができる。

3 調査

(1) 調査の概要

調査対象 東三河地域在住の満 18 歳以上の男女

標本数 7,000 人(東三河地域の人口の約 1%)

(2) 調査内容

①「東三河地域に生まれて良かった」、または「暮らして良かった」といった住民一人ひとりの主観的な東三河地域に対する評価を得る。

②幸福感を数値で評価し、判断する際に重視した項目を調査する。

質問項目及び選択肢の案は別紙のとおり

(3) スケジュール(予定)

令和 7 年 8 月	東三河ビジョン協議会で新たな指標(定性的なもの)及び調査内容(質問項目)を協議
令和 7 年 9 月	調査票の発送
令和 7 年 9 ～ 10 月	調査票の回収
令和 7 年 11 月	結果の集計、分析等
令和 7 年 12 月	調査報告書案(速報版)作成
令和 8 年 1 月頃	企画委員会にて調査結果を報告
令和 8 年 3 月頃	東三河ビジョン協議会にて調査結果を報告

質問の分類	質問項目及び選択肢		参考（県政世論調査の質問項目及び選択肢）
フェイスシート	性別（男性、女性、答えたくない・わからない・その他）、年齢、住まい（市町村）、職業 結婚経験、子供の有無、市町村の居住年数、東三河以外の居住経験、同居情報、出身地		性別、年齢、住まい（地域）、職業
	（県政世論調査の質問項目から追加した理由（下線部の項目）） 「婚姻状態」や「子供の有無」は幸福度に影響するとされている。また、「居住年数」や「東三河以外の居住経験」、「同居情報」も幸福感に影響していることが想定される。こうした質問項目の回答と「幸福感」「地域への愛着度」「誇りの度合い」などとの関係を分析して、東三河地域の特性を把握するため。		
住民の幸福感	問１　現在、あなたはどの程度幸せですか。（０点（不幸）～１０点（幸せ）で評価）		現在、あなたはどの程度幸せですか。 （０点（不幸）～１０点（幸せ）で評価）
	（質問項目及び選択肢に設定した理由） 県政世論調査の結果と完全な比較ができるようにするため。		
住民の幸福感	問２　あなたが幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。 （複数選択可） １ 家計の状況（所得・消費） ２ 就業状況（仕事の有無・安定） ３ 健康状況 ４ 自由な時間 ５ 充実した余暇 ６ 仕事の充実度 ７ 精神的なゆとり ８ 趣味、社会貢献などの生きがい ９ 家族関係 １０ 友人関係 １１ 職場の人間関係 １２ 地域コミュニティとの関係	（質問項目及び選択肢に設定した理由） 県政世論調査の結果と完全な比較ができるようにするため。	あなたが幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。 （複数選択可） １ 家計の状況（所得・消費） ２ 就業状況（仕事の有無・安定） ３ 健康状況 ４ 自由な時間 ５ 充実した余暇 ６ 仕事の充実度 ７ 精神的なゆとり ８ 趣味、社会貢献などの生きがい ９ 家族関係 １０ 友人関係 １１ 職場の人間関係 １２ 地域コミュニティとの関係
	住民の幸福感	問３　現在、あなたは次のそれぞれについてどの程度満足していますか。（１つ選択） １． 満足　２． やや満足　３． やや不満　４． 不満	
東三河独自	（質問項目に設定した理由） 問２では、幸福感判断に重視した事項は明らかとなるが、重視した事項がプラス（幸せ）側に働いているのかマイナス（不幸）側に働いているのかが判断できないことや、幸福感判断に重視した事項以外の項目の満足度を図ることができないため。 （選択肢の設定理由） 東三河の傾向をより明確にするため、「どちらともいえない」の選択肢をなくし、満足・やや満足・やや不満・不満の４つとした。 （追加項目の設定理由） 問２の幸福感判断に重視した事項以外に、デジタル庁が示している地域幸福度（Well-Being）指標アンケートの設問一覧より、東三河地域の特性が把握できるような生活環境因子を追加した。		

質問の分類	質問項目及び選択肢	参考（県政世論調査の質問項目及び選択肢）															
愛着や誇り、 居住志向 東三河独自	問4 あなたは、現在お住まいの地域に愛着や誇りを感じますか。【それぞれ1つ選択】 <table><tr><td></td><td>感じる</td><td>やや感じる</td><td>あまり感じない</td><td>感じない</td></tr><tr><td>愛着</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>誇り</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr></table> （質問項目に設定した理由） 「地域への愛着度」や「誇りの度合い」が幸福度に影響が深いとされており、「幸福感」との関係を分析して東三河地域の特性を把握するため。		感じる	やや感じる	あまり感じない	感じない	愛着	1	2	3	4	誇り	1	2	3	4	
	感じる	やや感じる	あまり感じない	感じない													
愛着	1	2	3	4													
誇り	1	2	3	4													
	問5 あなたのお住まいについて伺います。あてはまるものは次のうちどれですか。【1つ選択】 1. 現在お住まいの市町村に住み続けたい 2. 東三河地域の他の市町村に住みたい 3. 東三河地域以外の愛知県内の市町村に住みたい 4. 県外に住みたい 5. 現在お住まいの市町村から一度転出するが、将来戻ってきたい （質問項目に設定した理由） 「居住志向」と、「幸福感」や「地域への愛着度」、「誇りの度合い」との相関関係を調査するため。また、フェイスシートの情報とクロス集計することで、属性毎の定住や移住の意向を分析するため。 なお、住み続けたい、もしくは住み続けたくない理由は、問3で明確化されると考える。																
東三河振興ビジョン2030の 認知度 東三河独自	問6 あなたは、愛知県が策定した「東三河振興ビジョン2030」を知っていますか。【1つ選択】 1. 内容を詳しく知っている 2. 概要を知っている 3. 名前を見聞きしたことはある 4. 全く知らない 5. 今は全く知らないが、内容を知りたい （質問項目に設定した理由） 東三河振興ビジョン2030の認知度の現状を調査し、認知度の目標設定に活用するため。																
その他 東三河独自	問7 東三河地域に対して思うことがありましたらご記入ください。【自由記述】 ・東三河地域がどのようなになってほしいと思うか ・東三河地域に人を呼び込むにはどうしたらよいか ・その他、東三河に対して思うこと など （質問項目に設定した理由） 東三河地域がめざすべき地域の姿や、東三河地域に人を呼び込む手法、質問者が意図していない意見・考え等を調査し、東三河振興ビジョン2030の中間見直しに反映するため。																